

基盤整備と排水対策との同時施工による農地集積・集約化の促進【茨城県北茨城市】

【工夫のポイント】

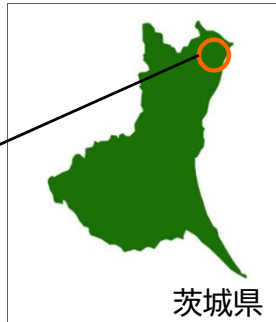
農家負担金の大幅軽減

- 特別減歩見合いの創設換地（排水機場・幹線排水路の敷地）
- 中心経営体農地集積促進費（目標としている集積率は75.0%で集約化加算と合わせ、事業費8.5%の促進費を見込む）

【取組地域の概要】

- 位置
茨城県 北茨城市

しもさくらい
下桜井地区



- 受益面積
・ 27.3ha
（水田23.9ha、畑3.4ha）

- 主要作物
・ 水稲

- 主な支援施策
・ 農地整備事業（経営体育成型）（H29～R8）
・ 水利施設整備事業（農地集積促進型）（H26～R8）
・ 多面的機能支払交付金（R4～）

整備前

- 1つ1つのほ場が小さく、作業効率が悪い
- 大北川河口部に位置することから、洪水時に河川水位が上昇し、地区内で湛水被害が発生
- 耕作者の高齢化、後継者不足による遊休農地の増加

整備前のほ場



大雨時の湛水状況



整備後

【基盤整備】

整備後のほ場



- 1筆30a以上の区画に整備
- 農道を4mに拡幅したことにより大型機械の導入も可能に

事業実施

【排水対策】

排水機場



整備後の排水路



排水機場、排水路の整備により、湛水被害が解消され、さらに乾田化が図れた

耕作条件が改善されたことにより..

担い手



【集積率】
15.6% → 76.5%
約60%アップ

【集約化率】
0.0% → 85.6%

